

本資料は、事業連携をするバイオラボ社が6月8日に配信したプレスリリースの邦訳です。  
原文との間に齟齬がある場合は、原文が優先されます。



令和4年6月8日 報道発表資料 午後2時リリース
--------------------------------

## プレスリリース

# バイオラボ社、KIIP、iCONM が、 川崎における3者の連携を祝す。

報道関係者のみなさま

平素は大変お世話になりましてありがとうございます。

6/6 午後5時、公益財団法人川崎市産業振興財団（理事長：三浦 淳、所在地：川崎市幸区堀川町、略称：KIIP）が、米国バイオラボ社（CEO：ヨハネス・フルハート、本社：マサチューセッツ州ボストン）との連携のもと、インキュベーション施設 iCONM in Collaboration with BioLabs（日本語名称は検討中）をオープンするとのプレスリリースを配信させて頂きました。この度、バイオラボ社が本件に関し、プレスリリースを配信しましたので、それを邦訳しご提供させて頂きます。

以下、邦訳。英語原文は以下のサイトをご覧ください。

<https://www.biolabs.io/post/biolabs-global-kiiip-and-iconm-celebrate-their-new-collaboration-in-kawasaki-japan>

**2022年6月6日、川崎** - 将来性の高いライフサイエンス系スタートアップ企業のためのコワーキング・ラボ施設をグローバルに運営する BioLabs Global（以下、バイオラボ社）、および、川崎市産業振興財団（以下、KIIP）、ナノ医療イノベーションセンター（以下、iCONM）は、6月6日、川崎市と共同で殿町キングスカイフロントに新しいコワーキング施設を立ち上げると発表しました。同時に、この提携セレモニーは、バイオラボがアジアで初めてコワーキング・ラボスペースを提供することを記念するものでもあります。

バイオラボ社は、バイオテクノロジー分野の起業家や投資家が設立した法人で、その領域のベンチャー企業が直面する課題についての経験を持っています。また、クラス最高のラボスペース、必要不可欠なビジネスサービス、イノベーターたちの強力なネットワーク、インスピレーションやアドバイスを提供する専門家とのコネクションを提供することで、ライフサイエンス系の起業家達がイノベーションに専念し、会社の成長を加速させ、資本効率を最大化できるようなエコシステムを構築しています。このユニークなモデルにより、バイオラボは起業家が科学を加速させ、世界に持続的な影響を与えることを支援します。

本資料は、事業連携をするバイオラボ社が6月8日に配信したプレスリリースの邦訳です。  
原文との間に齟齬がある場合は、原文が優先されます。

KIIP および iCONM と協力し、iCONM の新しいスタートアップインキュベーターを支援することで、バイオラボはそのグローバルネットワークを日本に拡大し、世界中のライフサイエンス起業家を支援する使命をさらに高めています。iCONM のインキュベーターは、バイオラボの協力のもと、シードから初期臨床研究の段階にある将来性の高いライフサイエンス系スタートアップ企業を育成するために設計されています。iCONM は、羽田空港から徒歩圏内に位置し、川崎市におけるライフサイエンス分野のイノベーションの震源地となることを目指し、起業家が企業の成長や最先端技術の開発に専念できるよう、バイオラボ社との協働で運営されています。iCONM の最先端の研究施設とバイオラボの優れた運営能力、そしてグローバルなバイオテクノロジーネットワークとの結びつきが、日本のライフサイエンス・イノベーションを加速させることでしょう。

ヨハネス・フルーフ バイオラボ社 CEO :

「私たちは日本のスタートアップやイノベーションエコシステム支援を共に行っていきます。iCONM はイノベーションを支援する設計となっているので、世界クラスのバイオテックスタートアップが集まるマグネットとなると、私は考えています。さらに、本連携が川崎市に与える影響は非常に大きいものになるに違いありません。例えば、雇用を創出し、活気にあふれたコミュニティを形成するでしょう。この連携が日本のスタートアップエコシステムを加速させる一助となることを願っております。」

三浦 淳 公益財団法人川崎市産業振興財団理事長 :

「本事業連携により、川崎市産業振興財団は新しい大きな一歩を踏み出します。当財団が運営する iCONM と世界のイノベーションエコシステムが繋がり、新しい社会を切り拓くバイオテックスタートアップを川崎で支援することで、将来、モデルナのようなスタートアップがここから生まれることを期待しています。本事業の実現に際してお世話になりました文部科学省、JST をはじめ関係者の皆さまには厚く御礼申し上げます。」

福田紀彦 川崎市長

「キングスカイフロントが成長し、世界とつながりたいという時宜を得たタイミングで、最高のパートナーである BioLabs 社との連携が実現しました。川崎が世界とつながるだけでなく、世界が川崎とつながるといふ双方向な連携ができていくことにわくわくしています。ここから生まれたスタートアップが成長した際には、川崎市内、それから大田区側を含めた多摩川両岸がグラデュエーションエリアとしてしっかりと受け止めていくことが、私たちのまちの発展、そして国の発展につながると考えています。」

片岡一則 ナノ医療イノベーションセンター センター長

「iCONM には最先端の研究機器や、精密加工から有機合成、薬理試験まで可能な研究室が揃い、それらを管理する専属のスタッフや委員会があります。更には、企業での経験豊富な人材が知財や広報など社会実装に必要な支援を行う体制が整っています。これら、文科省・JST にご支援頂いたセンター・オブ・イノベーションプロジェクト (COINS) で培った財産を大いに活用して頂き、バイ

本資料は、事業連携をするバイオラボ社が6月8日に配信したプレスリリースの邦訳です。  
原文との間に齟齬がある場合は、原文が優先されます。

オラボ社が持つ経験豊富なノウハウのもと、スタートアップ各社の成長に貢献できればと思います。」

厚見宙志 川崎市産業振興財団インキュベーション事業推進室サイトディレクター

「本連携によって、川崎市産業振興財団とバイオラボ社のノウハウを融合させ、私たちは新たなイノベーションを狙います。グローバルにスタートアップが活躍しやすい環境を、自治体を基盤としたナノ医療イノベーションセンターに整備することで、日本のエコシステム基盤を川崎市と連携して構築する極めてユニークな取り組みです。本連携が、日本のイノベーションを加速させ、エコシステムのグローバル化が進むことを期待しています。」

2022年6月8日